

(別記)

新城市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本地域は、平坦部から標高500m超の中山間地域であり、水稻を中心に作付けが行われている。降水量も多く麦・大豆などの作付けは難しい。また、畜産農家が多く飼料作物やWCS用稲の需要が高いことから、新規需要米や飼料作物の作付けの推進を行っている。高齢化による農家戸数の減少による不作付け農地の増加、鳥獣被害での生産収量の低下が進んでいる。こうした中、水田作付面積の維持が課題となっている。

2 作物ごとの取組方針

(1) 主食用米

各地域にあった売れる米づくりの徹底により、米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集出荷業者等の意見を勘案しつつ米生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中で、産地戦略枠を活用し、飼料用米をWCS用稲に次ぐ転作作物と位置付けるが、飼料用米の拡大にあたってはコンタミ防止のために主食用品種にて対応する。

イ WCS用稲

WCS用稲については、産地戦略枠を活用し、生産性向上・品質向上の取組を推進し畜産農家の要望に即し計画生産していく。

ウ 加工用米

産地戦略枠を活用し、複数年契約を推進していき、現状の数量を維持していく。

(3) そば

そばは、地域の実需者と播種前契約、個人販売等を踏まえ現行の栽培を維持する。

(4) 不作付地の解消

不作付地は、鳥獣害が多発するので、従来どおり緩衝地帯とする一方、鳥獣対策を強化する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 28 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	903.6	900.00	900
飼料用米	4	25.00	30
米粉用米	0	0	0
WCS 用稲	50	70.00	75
加工用米	12.8	13.80	13.8
備蓄米	6	0	0
麦	0.3	1.30	2
大豆	2	2.00	2
飼料作物	134	120.00	120
そば	0.5	0.50	0.5
なたね	0	0	0
その他地域振興作物			

4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 28 年度 (目標値)	28 年度の 支援の有無
1	飼料用米・ WCS 用稲	WCS 専用機械での刈取り、直播栽培、畦畔除草によるカメムシ防除等	ア	実施面積	54	66	有
2	飼料用米・ WCS 用稲	栽培指針に準じる適切な施肥量の投入	ア	実地面積	0	66	有
3	加工用米	肥効調節型肥料の施用等	ア	実地面積	12.8	13.2	有

※「分類」欄については、実施要綱別紙 16 の 2 (5) のア、イ、ウのいずれに該当するか記入してください。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組に該当するものをいずれか 1 つ記入してください。)

- ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組
- イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組
- ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組

※現状値及び目標値が単収、数量など面積以外の場合、() 内に、数値を設定する根拠となった面積を記載してください。

※畑地の面積は含めないこと。

※28 年度の支援の有無の欄は、産地交付金による助成を行う取組は「有」を、助成を行わない取組は「無」を記載する。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり